

## 音声訳CDを聞いてみませんか

市立図書館、ふれあい館、みどり館で貸し出し中です。気軽にご利用ください。

- **音声訳対象** 広報こうし、議会だより「ぎずな」社協だより「ほっとライン」
  - **再生機器** パソコン、MP3対応のCDプレーヤー、デジタ録音図書専用ポータブルプレーヤー
- ※身体障害者手帳（視覚障がい）をお持ちの場合は、希望者に毎月CDを送ります。

## 音声訳ボランティア募集中！

こだまの皆さんと音声訳ボランティアをしてみませんか。誰でも参加できます。

- **とき** ・2～3カ月ごとの当番月に、土曜日を中心に活動  
・勉強会は、当番月に限らず毎月第4土曜日の午後1時30分～3時30分
- **ところ** 市福祉センター みどり館（栄2371）

● **申し込み・問い合わせ先**  
市社会福祉協議会 ☎242-7007

## 熱意に驚かされます



音声訳外部講師  
やました かずえ  
山下 一恵 先生（菊池市）

こだまの設立当初から、勉強会で音読の講師をしています。約20年もの間活動が途切れることなく続いているのは、一人一人が広報をとて

大切に、丁寧に読み込む一生懸命さを持っているからだと思えます。勉強会では、本音で意見を言い合いながらもグループとしてのまとまりがあり、学んだことを次の録音に生かしておられます。私も皆さんの熱意と上達ぶりにドキドキしながら、毎回楽しく参加させてもらっています。聞く人の役に立てるよう、また、こだまに加入して読もう、これからの地域で活動の輪を広げてほしいですね。

## 聞きやすい音声訳 毎月楽しみにしています



音声訳CD利用者  
こうづき よういち  
高月 洋一 さん（武蔵野台）

視神経委縮症で小学生のころから視力が弱く、仕事を定年退職した約14年前に視力を大きく失いました。広報などの音声訳は約12年前から利用しています。かつてのカセットテープからCDに変わり、時間がないときも聞きたいところだけ素早く再生でき、とても使いやすくなりました。

こだまの皆さんの音読は非常に上手で聞きやすく、ほかの市町村に住む友人からも褒められます。特にベテランの人たちは、全国で活躍する音声訳ボランティアと比べても引けをとらない聞きやすさです。雑音や間の取り方にも気を遣われているのがよく分かります。



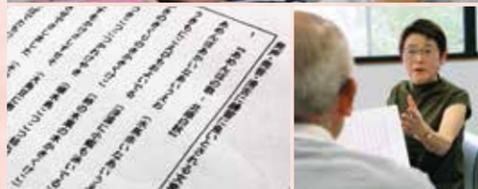
自宅のパソコンで音声訳CDを再生する高月さん。広報紙以外にも、専用のネットワークシステムで時代小説なども楽しんでいます



## 5 反省会・勉強会



CDが完成したらメンバー全員で聞き、音読の勉強会を兼ねた反省会を毎月開催。意見を出し合いながら、みんなで技術の向上に取り組んでいます。



## 4 編集・ダビング



読み間違いがないか、段落・項目・ページの間が一定の秒数空いているか、音声データが内容ごとに分類され目次通りに並んでいるかなど、細かく確認・調整します。



話し手の口の中の音、空調の音や犬の鳴き声など、雑音をできる限り取り除いて聞き手が不快にならないよう配慮。必要があれば部分的に再録音します。



編集が終わったら、専用の機械で音声データをCDに保存して人数分複製。利用者のもとへ送られます。



## 3 録音

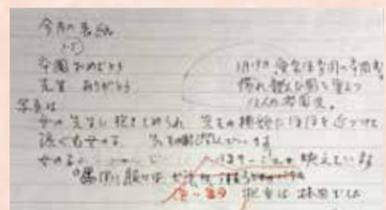


パソコンで録音を開始し（左）、読み手（右）に合図したら音読がスタート。録音中は周りの人も原稿を目で追い内容を確認。読み間違えた部分はパソコンで削除して続きを読みます。

箇条書きの文章や図表など、書いてあることを読むだけでは伝わりにくいところもあるんです。正しく伝わるよう、ひと言付け足すなど、みんなで工夫しています。



音声訳ボランティア歴20年  
もり ともこ  
森 友子 さん（泉ヶ丘）



読み手の原稿には赤エンピツでメモ書きが。表紙などの大きな写真は、聞き手の頭に情景が浮かぶよう独自の解説も加えられています。

ニッポン？  
ニホン？



発音のアクセントがおかしくないか、読み方が統一されているかなど、確認しながら丁寧に録音を進めます。



発音のアクセントは辞書などでチェック！



表など文章になっていないものは、読み上げる順番を変えたり内容をまとめたりして、聞き手にわかりやすいよう工夫しています。